

令和 3 年度
一宮市の予算

イチ推し 20

中核市

- | | | | |
|----|---|------------------------|----------------------|
| 01 | 臨 | 新型コロナウイルス対策 | 財務部
財政課 |
| 02 | 核 | 中核市移行による新たな事業 | 総合政策部
政策課 |
| 03 | 核 | 福祉総合相談室を開設 | 福祉部
福祉総務課福祉総合相談室 |
| 04 | 核 | 保健所関係の各種事業 | 市民健康部
保健所 |
| 05 | 核 | 市民の生活環境を守る | 環境部
環境保全課・廃棄物対策課 |
| 06 | 臨 | 市制施行100周年記念事業 | 総合政策部
政策課100周年推進室 |
| 07 | 臨 | 新婚新生活を応援 | 子ども家庭部
青少年課 |
| 08 | 新 | 市民活動団体を支援する新たな制度を開始 | 総合政策部
市民協働課 |
| 09 | 新 | 子どもに対する学習・生活支援 | 福祉部
福祉総務課福祉総合相談室 |
| 10 | 拡 | 放課後児童クラブ等整備 | 子ども家庭部
子育て支援課 |
| 11 | 新 | 商業施設への保育所設置を支援 | 子ども家庭部
保育課 |
| 12 | 拡 | 地元企業を応援 | 活力創造部
商工観光課 |
| 13 | 臨 | スポーツ施設の照明をLED化 | 活力創造部
指定管理課 |
| 14 | 拡 | まちなかを元気に | まちづくり部
都市計画課 |
| 15 | 拡 | 雨水をためて浸水対策 | 建設部
治水課 |
| 16 | 新 | スマホを使った災害現場の映像伝送 | 消防本部
通信指令課 |
| 17 | 拡 | GIGAスクール構想の実現（小学校・中学校） | 教育部
総務課 |
| 18 | 臨 | 新たな学校給食共同調理場を整備 | 教育部
学校給食課 |
| 19 | 臨 | 患者さんの利便性向上のため病棟を改修 | 市民病院
管理課 |
| 20 | 臨 | AIを使って水道管の劣化診断 | 上下水道部
管路保全課 |

新：新たに取り組む事業 **核**：中核市移行に伴う事業 **臨**：臨時的な事業 **拡**：制度・内容を拡充する事業

01 臨 新型コロナウイルス感染症対策（令和2年度補正含む）

担当課 財務部財政課
0586-28-8960

事業費 **7億1,406万円**

新型コロナウイルス感染症のまん延によって経済が疲弊するなかで、市民に一番近い自治体として、市民・事業者・医療従事者など幅広い層に向けて、さまざまな支援策を実行する。

市民1人あたり		1,855 円	
主な 経費	新生児特別定額給付金	135,000 千円	主な 財源
	医療従事者応援金負担金	58,230 千円	
	中小企業振興融資補助金	18,000 千円	
	中小企業振興融資利子補給補助金	84,406 千円	
		国庫支出金	501,420 千円
		県支出金	350 千円
		一般財源	212,286 千円

市税の減免など 約15.5億円

【市の独自策】 事業所税の減免逡減の先送り

約1.2億円

【国の施策】 中小事業者の固定資産税等の減免

約14.3億円

市内の事業者への支援 約 3.6億円

- ・ 事業者が雇用調整助成金の申請を行う際の支援(3月補正)
- ・ 感染症に対応した事業環境への設備費に対する支援(3月補正)
- ・ クラスタが発生した事業所の消毒などに対する支援(3月補正)
- ・ 中小企業が受けた感染症関連融資に対する支援などの事業

医療従事者などへの支援 約 0.6億円

- ・ 県と共同で支給する医療従事者への応援金などの事業

市民生活への支援 約 2.9億円

- ・ 新生児に対する特別給付金(3月補正)
- ・ 特別障害者手当等の受給者に対する臨時給付金(3月補正)
- ・ 要介護1以上の高齢者のワクチン接種会場への往復にタクシーを使用する場合の初乗り運賃の助成(3月補正)などの事業



02 核 中核市移行事業

担当課 総合政策部政策課
0586-28-8952令和3年度
事業費

19億3,491万円

令和3年4月1日から中核市へ移行し、県の仕事の多くを市が担うことで、地域の実情に合わせたきめ細かなサービスの提供を目指す。また、中核市になるとできるようになることを活用し、オリジナルのルールづくりやあたらしい取組みにもチャレンジし、まちづくりのステップアップを実現する(事務経費の増加に対し地方交付税による措置あり)。

市民1人あたり		5,034 円
主な経費	市保健所の運営	1,205,203 千円
	大気汚染状況の監視	35,892 千円
	母子父子寡婦福祉資金の貸付	12,959 千円
主な財源	国・県補助金	552,605 千円
	一般財源	1,368,924 千円

- 中核市のメリットを実感できるまちづくり -

福祉

■ 福祉総合相談室の開設
(→03ページ)

福祉の困りごとを気軽に相談できる体制・支援が充実

■ 身体障害者手帳の交付

受付から交付まで すべての事務を市が行い、手続きがスピードアップ【2か月→早いもので3週間】



保健衛生

■ 市保健所の運営
(→04ページ)

新たな地域保健対策の拠点として、市民の健康と安全を守る機能が充実し、新型コロナウイルスにも対応



子育て

■ 母子父子寡婦福祉資金の貸付

受付から貸付まで すべての事務を市が行い、資金が必要なひとり親の方に、スピーディーかつ確実に貸付【2~3か月→1か月以内】

環境



■ 大気汚染状況の監視 (→05ページ)

測定局の増設により強化された監視体制のもと、大気の汚染状況を迅速に把握

■ 産業廃棄物処理の指導 (→05ページ)

ごみ対策の窓口が一つになり(家庭ごみ+事業ごみ)、不法投棄や不適正処理に対応



03 核 福祉総合相談室開設

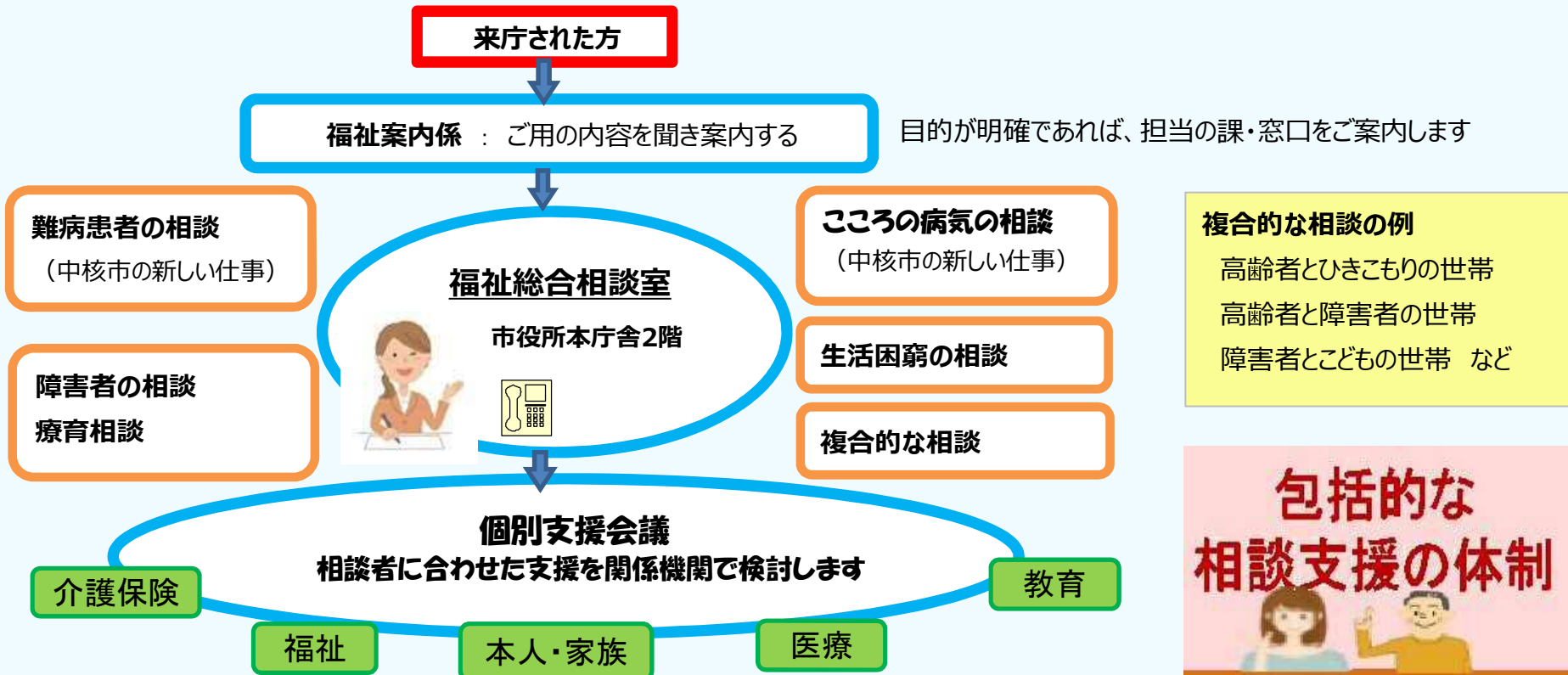
担当課 福祉部福祉総務課福祉総合相談室
0586-28-9145

令和3年度 事業費 2億1864万円

地域共生社会を目指し、旧生活支援相談室の事業、既存の障害者相談支援事業と合わせ、県からの移譲事務である精神保健福祉推進事業、難病対策推進事業、障害児等療育支援事業を実施し、複雑・複合的な相談に応じます。

障害者手帳所持者、生活困窮者など1人あたり		9,396 円
主な経費	総合相談事業	118,877 千円
	生活困窮者自立相談支援事業	15,407 千円
	精神保健福祉推進事業	10,649 千円
主な財源		国・県支出金 66,381 千円 一般財源 152,261 千円

－ 福祉総合相談室を中心に関係機関と連携して支援します －





04 核 保健所関係各種事業

担当課 市民健康部保健所各課
0586-52-3851

令和3年度
事業費

12億520万円

現在の県一宮保健所の施設を活用し、地域保健対策の拠点となる市保健所を開設する。これまで市保健センターが担ってきた母子保健や成人保健の事業と、県保健所が担ってきた専門的な事業を一体的に実施することにより、総合的な保健サービスを提供する。また、食中毒や感染症等の健康危機の発生に備え、平時から食品衛生、環境衛生の監視指導を行うとともに、健康危機が発生した場合には、地域の実情に即した迅速なまん延防止対策を実施し、市民の健康と安全を守る（事務経費の増加に対し地方交付税による措置あり）。

市民1人あたり		3,135 円
主な経費	コロナ対策事業費	608,208 千円
	県派遣職員給与と費負担金	168,335 千円
	特定不妊治療費補助金	159,300 千円
主な財源		国・県支出金 495,782 千円
		一般財源 690,861 千円

市保健所を開設 ～市民の健康と安全を守る身近な存在へ～

■保健所の主な業務

食品衛生 ・飲食店の営業許可など 	環境衛生 ・理容所の監視など 	感染症対策 ・感染症のまん延防止など 	動物愛護 ・負傷動物の収容など 	健康増進 ・健康づくりの支援など 	試験検査 ・食中毒の検査など
--------------------------------	------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------------------------------

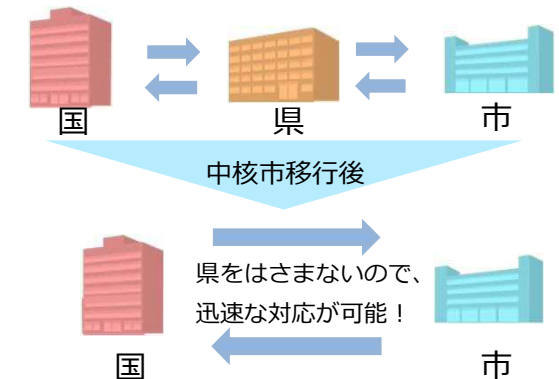
■総合的な保健サービスの提供

市保健センター ・母子保健などの身近な相談 	+	市保健所（新規） ・食中毒などの専門的な相談
↓ どのような場面でも市のサポートが受けられるように！		

■専門職の採用による体制強化

 保健師	 管理栄養士	 歯科衛生士
新たに配置		
 医師	 獣医師	 薬剤師

■情報伝達のスピードアップ



05 核 公害・産業廃棄物監視指導事業

担当課 環境部環境保全課・廃棄物対策課
0586-45-7185・7004

令和3年度
事業費

5,787万円

大気汚染防止法などの環境法令に基づき、事業場の立入検査及び指導などを実施することにより、公害の発生を未然に防止し、市民の健康を保護するとともに生活環境を保全していく。
また、産業廃棄物処理事業者に対し許可審査及び立入指導を行うほか、産業廃棄物の不法投棄や不適正処理に対する監視・指導を行う。

市民1人あたり		151円	
主な経費	大気測定委託料	16,594千円	主な財源
	大気測定局測定機保守委託料	8,800千円	
	事業用備品購入費	4,936千円	
	県補助金	6,000千円	
	いちのみや応援基金	4,936千円	
	一般財源	46,517千円	

— 快適な生活環境を守ります —

大気汚染状況の規制・監視体制の強化

大気汚染状況の監視

自動車排出ガス測定局を **1局増設**
(市内の大気測定局 3局 → 4局)

【測定項目】

- ・ 酸性雨や光化学スモッグの原因物質
- ・ 健康被害を及ぼす物質



大気測定局

ダイオキシン類による汚染状況の監視

【測定対象】 大気、河川（川底の底質を含む。）、土壌、地下水

工場・事業場の規制・監視

工場・事業場から排出される大気汚染物質の測定、立入検査・指導

大気環境等の保全

市民からの廃棄物の相談に対して

これまでは...

- 一般廃棄物（家庭から出るごみ）
⇒ **市**が指導・監視
- 産業廃棄物（工場などから出るごみ）
⇒ **県**が指導・監視

スピーディーな対応へ

これからは...

すべて **市** が窓口です



不法投棄されたごみはどっち？
市？県？

06 臨 市制施行100周年記念事業

担当課

総合政策部政策課100周年推進室

0586-85-7433

令和3年度
事業費

6,455万円

市制施行100周年を迎えるにあたり、次の100年に向けて市民もまちも、100周年のメインテーマである「健康・元気」であり続けられることを目指し、市及び市内の関係団体による官民連携を目的とした『いちのみや市100周年実行委員会』において各種記念事業を実施する。また、市内の市民団体や関係団体が実施する記念事業に対して助成を行い、全市的な機運の醸成を図る。

市民1人あたり		168円	
主な経費	市制施行100周年記念事業実行委員会負担金	24,052千円	主な財源
	市制施行100周年記念事業関係団体助成金	20,500千円	
	市民チャレンジ事業補助金	20,000千円	
		市民活動支援基金	20,000千円
		寄附金ほか	15,232千円
		一般財源	29,320千円

市制施行100周年を市民とともに祝い、次の100年に向けた飛躍・発展の契機とします。



① 市民チャレンジ事業（20,000千円）

市内の市民団体やグループなどが100周年を機に実施する「新しいチャレンジ」を応援します。

【市民活動支援基金を活用】

▶対象団体

市内に事務所を有する市民団体

▶対象事業

- ・テーマ「健康・元気」
- ・団体にとって新しいチャレンジ
- ・広く市民が交流できる

▶支援内容

- ・対象経費の4/5



② 関係団体実施事業（20,500千円）



市内の関係団体が100周年を機に実施する事業を助成

③ 実行委員会実施事業（24,052千円）

【100周年記念事業に対する寄附を活用】

- ▶まちなかウォークブル
- ▶謎解きウォークラリー
- ▶カウントダウン
- ▶モザイクアート制作
- ▶記念ノベルティ制作 など



07 臨 結婚新生活支援事業

担当課 子ども家庭部青少年課
0586-84-0017

令和3年度
事業費

6,060万円

市制施行100周年を迎えるにあたり、今後の一宮市の将来を担う若い世代の結婚を応援する。結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯に対し、新生活のスタートアップに係るコスト（新居となる住宅の購入費や賃料、引越費用等）を、1世帯当たり20万円を上限として補助する。（1年限定事業）

補助申請世帯数 1組あたり		202,006 円
主な経費	結婚新生活支援補助金	60,000 千円
	会計年度任用職員報酬	576 千円
	会計年度任用職員通勤費	26 千円
主な財源	県補助金	30,000 千円
	一般財源	30,602 千円

－ いちのみや市100周年記念 マイスweetホーム事業 －

対象となる新婚夫婦

- ・令和3年1月1日から令和3年12月31日までに婚姻届を提出し受理された夫婦
- ・夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下
- ・夫婦の年間所得（令和2年1月1日から令和2年12月31日分）の合計が400万円未満
- ・新居となる住宅が市内にあり、その住宅に夫婦ともに住民票があること
- ・その他、対象要件有り



対象となる費用

令和3年4月1日から令和3年12月31日までの間に支払った次の㊦～㊨の費用

- ㊦新居となる住宅を取得した場合の費用（土地代は除く）
- ㊧新居となる住宅を賃借した場合の費用（賃料、敷金・礼金、共益費、仲介手数料）
- ㊨引越業者または運送業者へ支払った引っ越すためにかかった費用

補助金額

1世帯当たり20万円を上限とする

※申込みが予算額に達した時点で
受付を終了する場合があります。



1年
限定事業

いちばんだいすき。一宮





08 新 市民活動サポート補助金事業

担当課 総合政策部市民協働課
0586-23-8883

令和3年度
事業費

2,512万円

市民活動団体が行う公益的な社会貢献活動に要する経費に対して補助金を交付し、多様化する地域社会の課題解決に向けた活動を推進する。「一宮市市民活動サポート補助金」として4部門を設け、あらゆる階層の市民活動団体を財政的に支援していく。

市民1人あたり		65円	
主な経費	市民活動補助金	23,000千円	主な財源
	市民活動補助申請事前審査謝礼	240千円	
	市民活動補助制度審査会委員報酬	45千円	
		市民活動支援基金	3,000千円
		その他	31千円
		一般財源	22,089千円

「市民が選ぶ市民活動支援制度」に代わる新たな補助制度を開始

市民活動団体の発展段階に応じた支援

初期

新規設立団体のスタート支援【スタート支援部門】

若者で構成された団体の支援【若者支援部門】 **尾張初**

拡充期

市民活動団体のステップアップ支援【ステップアップ部門】

成熟期

公募助成金活用を促す支援【助成金チャレンジ部門】 **県内初**

変更点

企画提案内容を審査し、事業採択の可否を決定（**投票を廃止**）
市民活動団体の自主・自立に向けた**段階的な補助**
市民活動の裾野を広げるための**新たな部門を創設**

市民活動の自主・自立に向けたサポート

成熟期

他の助成金獲得へ

助成金チャレンジ部門

拡充期

段階的補助で自立に向けて

ステップアップ部門

初期

活動初期の支援

スタート支援部門

新たな担い手の育成

若者支援部門

09 新 子どもに対する学習・生活支援事業

担当課 福祉部福祉総務課福祉総合相談室
0586-28-9145令和3年度
事業費

242万円

- 1 生活困窮者世帯などの子どもに対し、学習の支援を行う。
- 2 生活困窮者世帯などの子どもとその保護者に対し、生活習慣・育成環境の改善に関する助言を行う。
- 3 生活困窮者世帯などの子どもの教育（進路選択など）に関する相談に応じ、情報提供や助言、関係機関との連絡調整を行う。

参加者（子ども）とその保護者1人あたり		20,133 円	
主な経費	子どもに対する学習・生活支援事業委託料	2,416 千円	主な財源
			国補助金
			一般財源
			1,208 千円

－ 子ども本人と世帯の双方にアプローチし、子どもの将来の自立を後押し －

1 内容

（1）学習支援

日々の学習習慣の習慣づけ、授業などの

フォローアップ

高校進学支援

（2）生活習慣・育成環境の改善

学校・家庭以外の居場所づくり

親への養育支援を通じた家庭全体への支援

（3）教育と就労（進路選択）に関する支援

進路を考えるきっかけづくりの情報提供

2 募集

対象者 生活保護受給世帯の中学生

就学援助制度利用世帯の中学生

開催日 月2回

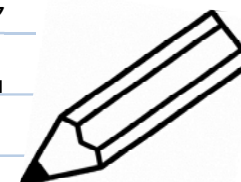
開催場所 市内3か所

内容 学校の宿題やテスト前勉強など

スタッフ ボランティア

定員 各会場20名

参加費 無料



10 拡 放課後児童クラブ等整備事業

担当課 子ども家庭部子育て支援課
0586-28-9022令和3年度
事業費

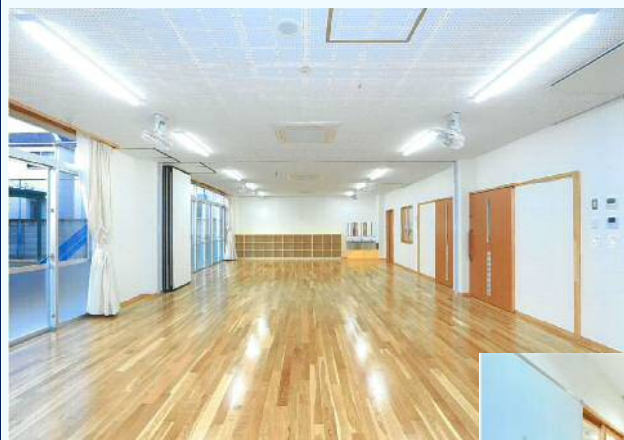
4億7,245万円

- 仕事で日中、保護者がご家庭にいない子育て世帯の方を対象に、放課後、市内の児童クラブで子どもたちを預かる「放課後児童クラブ」を各所で開設している。
- 令和3年度は小学校の敷地内に1か所、児童館の大規模改修に合わせて2か所の合計3か所の施設整備と、児童館の増築改修に係る設計を2か所実施し、放課後児童クラブの施設整備を加速化し、約160名の定員増を図る。

放課後児童クラブ申込者（登録児童及び待機児童）1人あたり		113,380 円
主な 経費	工事請負費	404,808 千円
	児童クラブ建物賃借料	45,954 千円
	設計委託料	14,245 千円
主な 財源	国・県補助金	187,398 千円
	市債	150,500 千円
	一般財源	134,555 千円

－ 放課後児童クラブの整備をスピードアップ －

～ 3か所の施設整備と2か所の児童館の設計を予算化 ～



プレイルーム

約160名の
定員増！

玄関



★ポイント

- ① 駅西地区に放課後児童クラブを新設
→ 末広小学校の敷地内に建設
- ② 児童館の老朽化対策工事に合わせ、児童クラブ室を増築
→ 丹陽・千秋児童館 ※千秋は大規模改修のみ（増築なし）
- ③ 次年度以降も計画的に整備
→ 貴船・大和児童館の設計委託

11 新 テナント型保育所施設整備事業

担当課 子ども家庭部保育課
0586-28-9025

令和3年度
事業費

4,429万円

競輪場跡地の商業施設内に、社会福祉法人が令和4年4月にテナント型の保育所を開所する計画がある。定員は0～2歳児60人程度で、施設の改修に要する経費を補助する。また、開所までの賃借料と礼金について補助金を交付し、安定的な運営を図る。

新規保育所の予定定員1人あたり		21,711円
主な経費	改修費補助金	41,250千円
	賃借料等補助金	3,042千円
主な財源	国補助金	36,666千円
	一般財源	7,626千円

－ 民間活力の活用による乳児定員の確保と保育サービスの充実 －

【施設の概要】※令和4年4月開所予定

- 認可保育所（0才～2才児対象：定員60名）
- 他に、休日保育（日曜・祝日における保育）などを計画



12 拡 地域経済活性化事業

担当課 活力創造部商工観光課
0586-28-9130

令和3年度
事業費

1億8,772万円

地域経済の下支えとして、事業者への補助事業、関係機関との連携、融資の促進、イベント・まつり等への協力などを行い、地域経済活性化を促進する。

次世代産業振興委員会（一宮商工会議所）が行うビジネスコンテストの経費の一部を負担する次世代産業振興支援事業（新規事業）や、補助対象を拡充した貿易振興等補助事業などを実施する。

一宮市内事業所1事業所あたり		11,043 円	
主な経費	次世代産業振興支援事業負担金	700 千円	主な財源
	貿易振興事業費等補助金	4,800 千円	
	中小企業振興融資補助金	60,800 千円	
		県補助金	950 千円
		一般財源	186,770 千円

－ 様々な事業で地域経済を支援します －

事業者への補助、関係機関との連携、融資の促進など地域経済の下支えをします。

【事業の一例】

次世代産業振興支援事業

事業計画 (令和2年～令和4年)

事業計画



事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

事業計画

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

スタートアップ人材の発掘・育成

ビジネスコンテストの経費の一部を負担



中小企業振興融資等補助事業



信用保証料、利子の一部を助成

(R3.1.7一宮商工会議所報道発表資料)

貿易振興事業等補助事業



国内展示会においてオンライン参加費用の一部補助(拡充)

商工団体等事業補助事業、空き店舗解消リフォーム費用補助事業



商店街等が行う共同事業の経費の一部を補助

商店街の空き店舗等をリフォームし開業した際のリフォーム費用の一部を補助

地域経済の活性化

- ・地場産業（製品）のアピール
- ・新たな産業の創出
- ・シティープロモーションなど

13 臨 スポーツ施設照明設備LED化事業

担当課 活力創造部指定管理課
0586-85-7080

令和3年度
事業費

4億4,330万円

市内スポーツ施設の照明設備をLED化する。
令和3年度・・・一宮市テニスコートの照明設備をLED化
令和3～4年度・・・木曽川体育館のアリーナ天井を耐震補強するとともに、照明設備をLED化

市民1人あたり		1,153円
主な経費	一宮市テニスコート照明設備LED化改修費	93,300千円
	木曽川体育館天井等改修費	350,000千円
主な財源	国補助金	30,000千円
	市債	338,600千円
	一般財源	74,700千円

－ 利用者が安全に施設を使用でき、かつ、環境に配慮した施設へ －

現状は

<一宮市テニスコート>

ここ数年、照明が点灯しないなどトラブルが多発しており、今後漏電による火災が危惧される

照明設備メーカーがランプと安定器の製造を中止

<木曽川体育館>

利用者から照度を上げて欲しいという要望

LED化により

<2か所共通>

電気使用料が約60%削減される見込み

光源寿命が長くなり、交換に係る費用が軽減

紫外線や赤外線をほとんど含まず、省電力設計でCO2排出量も低減



市テニスコート



木曽川体育館



LED設備イメージ写真

14 拡 まちなかウォーカブル推進事業

担当課 まちづくり部都市計画課
0586-28-8981

令和3年度
事業費

2,469万円

事業期間 2 ~ 9 年度
総事業費 1億5,715万円

一宮駅を中心としたエリアにおいて、道路、公園、広場及び駅前ビル等の公共空間の積極的な利活用やウォーカブルな空間再編を行うことにより、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成し、都市の多様性とイノベーションを創出する。
令和3年度は、エリアプラットフォームの構築、未来ビジョン策定及び策定に向けた社会実験を行う。

市民 1人あたり		64 円
主な経費	まちなかウォーカブル推進事業委託料	24,677 千円
	食糧費	9 千円
主な財源	国庫補助金	12,000 千円
	一般財源	12,686 千円

— 居心地が良く歩きたくなる “まちなか” へ — ～ 人が主役のまちづくり ～

一宮市ウォーカブル空間デザインプロジェクト

未来ビジョン策定に向けた社会実験

イメージ



駅前シンボルロードで 今までにない利活用を計画

未来ビジョン策定

わかりやすいビジュアルによるエリアの将来像
将来像を実現するための方針、施策、役割分担



出典：国土交通省WEBサイト

エリアプラットフォームの形成

(まちづくり団体等で構成する協議組織)

官民の多様な人材が集結する
自立型プラットフォームの構築



都市の多様性・生産性の向上による "まちなか"のアップデート



人中心の空間として再生した、まちのメインストリート



曜日や時間帯に応じて道路空間の使い方が変わる路側マネジメント

出典：国土交通省「2040年、道路の景色が変わる」

15 拡 流域貯留施設築造事業

担当課 建設部治水課
0586-28-8642

令和3年度 事業費 1億8,600万円

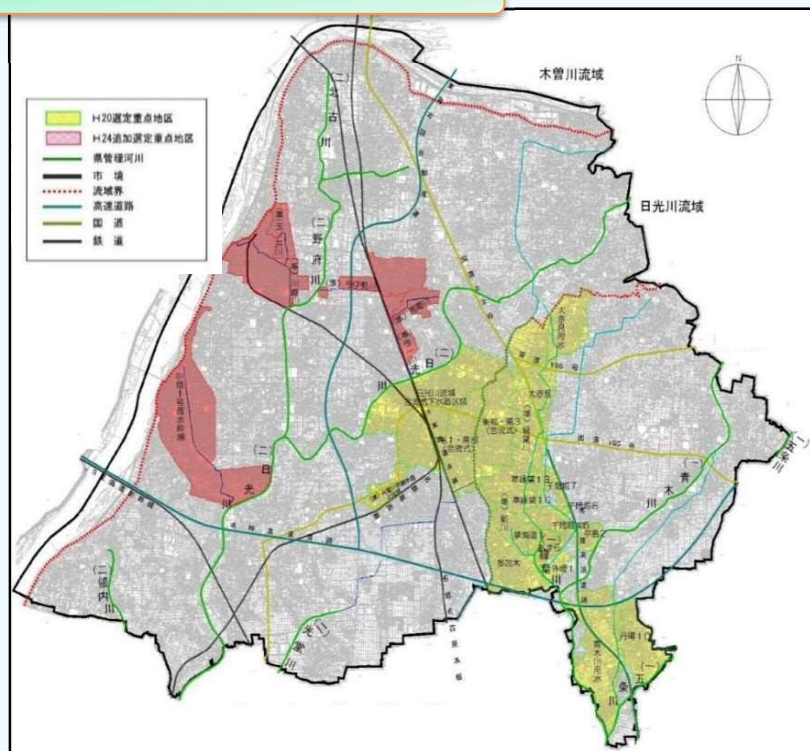
河川への雨水流出を抑えるため、市内の学校や公園等を利用して一時的に雨水を貯留する施設を築造する。

令和3年度は、奥小学校の工事を行い、令和元年に行った基本計画を基に多加木公園ならびに大平島公園の測量設計を実施する。

旧市、西成連区、奥町連区、丹陽連区R2.10.1現在人口1人あたり	1,323 円
主な経費	測量・設計業務委託料 41,500 千円
	流域貯留施設築造工事請負費 136,000 千円
	支障物件移転補償金 8,500 千円
主な財源	国・県補助金 58,500 千円
	市債 107,500 千円 一般財源 20,000 千円

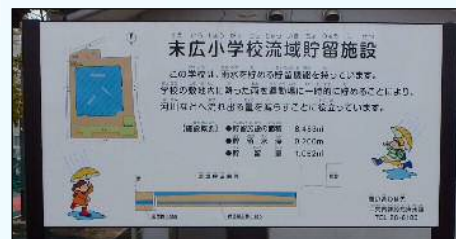
－ 雨水を貯める、そして水害に強いまちへ －

一宮市総合治水対策重点地区



大雨時の河川の急激な水位上昇を抑えるため、雨水を一時的に貯留する施設を小中学校の校庭や公園広場に築造し、流域の浸水被害を軽減する。

施工例



2020年9月 大雨時活用状況



令和3年度工事

- ・奥小学校（3月補正重複）

令和3年度設計

- ・多加木公園
- ・大平島公園

16 新 災害現場等映像伝送事業

担当課 消防本部通信指令課
0586-72-1191

令和3年度
事業費

174万円

災害現場における現場状況を活動隊、消防本部に4Gインターネット回線を使用し映像を伝送することで、より正確・迅速に情報伝達ができるため、消防隊および通信指令課にスマートフォンを導入する。

火災および救助件数 1件あたり		6,627 円
主な経費	通信使用料	1,743 千円
主な財源	一般財源	1,743 千円

－ スマホで映像伝送～リアルタイムで迅速な指示 －

「5Gによる消防・救急実証実験」の結果を基に、4Gで検証、活用実績を積み重ね将来に向けて

災害管理する指揮隊



災害活動中の消防隊

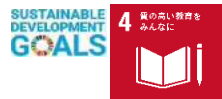
災害統制する消防本部



映像伝送



リアルタイムに現場の映像を確認し、状況をより正確に把握、指示を早く伝え、迅速な消火・救助活動につながる。



17 拡 GIGAスクール構想整備事業（小学校・中学校）

担当課 教育部総務課
0586-85-7070

令和3年度 事業費 1億7,402万円

令和3年度予算では端末等の機器の保守費や通信費に加え、教員のICT指導力の向上を図るためにICT支援員の増員にかかる費用を計上する。（小中学校全61校への学習者用端末他関連機器の整備、及びインターネット回線の増強は、令和2年度予算を繰り越して令和3年度中に整備する予定）

市立小中学校児童生徒1人あたり		5,492円
主な経費	通信運搬費	16,377千円
	教育ネットワークシステム保守委託料	9,145千円
	電子計算装置賃借料	114,293千円
主な財源		一般財源 174,024千円

－ GIGAスクール構想の実現による教育の充実を目指します －

Internet



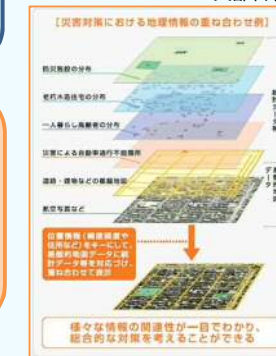
通信環境の
高速大容量化

デジタル教科書など
良質なデジタル
コンテンツの活用



文部科学省HPより引用

データの可視化、
動画等を使って
より深く分析・考察



国土交通省
HPより引用

授業準備や
成績処理等の
教員の負担軽減

ICT支援員の継続的な
支援により、教員のICT
指導力が向上



18 臨 (仮称) 一宮市第1共同調理場整備事業

担当課 教育部学校給食課
0586-28-8650

令和3年度
事業費

3,508万円

事業期間 1～6年度
総事業費 46億5,322万円

一宮地区に2か所ある老朽化した共同調理場を更新するため、新規整備する共同調理場のうち1場目を早急に建設、運用開始を目指す。

令和3年度は、実施設計及び建設に向け、PFI手法により事業者を選定する。

(仮称) 一宮市第1共同調理場の給食を食する児童生徒等1人あたり		4,126円
主な経費	PFIアドバイザー-業務委託料	29,934千円
	手数料	3,730千円
	施設修繕料	1,260千円
主な財源		一般財源 35,062千円

— 学校給食共同調理場の整備を進めます —



< 基本方針 >

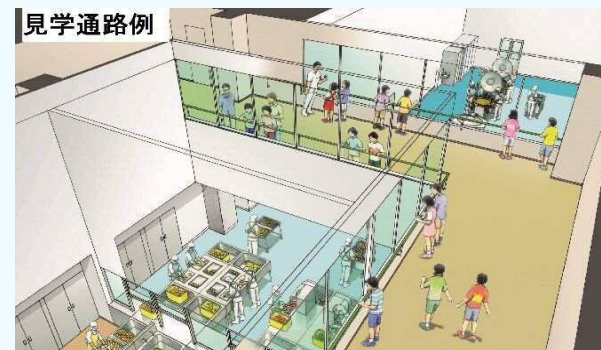
- 1 安全・安心な給食の提供
- 2 おいしい給食の提供・食育の推進
- 3 新たな給食調理施設の早期実現

(一宮市学校給食共同調理場整備基本計画 (平成31年2月) より)

外観計画例



見学通路例





19 臨 既存病棟改修事業

担当課 市民病院管理課
0586-71-1911

令和3年度 事業費 **2億8,230万円**

事業期間 30 ~ 3 年度
総事業費 9億9,808万円

一宮市立市民病院においては、新病棟に感染症病棟などの機能を移転したため、移転後のスペースを既存施設の拡張など有効利用を目的とした改修を行う。実施設計の完了に伴い、平成30年度より改修工事を開始し、令和3年度に完了する。

関連事業：平成30年度9月補正予算 病院事業部No.4 既存病棟改修事業
令和元年度当初予算 病院事業部No.3 既存病棟改修事業
令和2年度当初予算 病院事業部No.3 既存病棟改修事業

患者数(入院・外来)令和3年度見込1人あたり		604 円
主な経費	建設費	277,300 千円
	資産購入費	5,000 千円
主な財源		

- 市民病院北館・南館A、B棟改修工事 -

主な改修箇所

- 令和元年度 -
心血管工一室、医局事務室
看護学生学習室、専攻医・研修医事務室

- 令和2年度 -
内視鏡センター
小児科外来診察室

- 令和3年度 -
患者サポートセンター
内科外来診察室
(ともに10月稼働予定)

患者サポートセンター

令和3年度 リニューアルオープン!

入院前から退院後の療養生活に至るまでの支援を行います。

小児科外来 (令和3年1月オープン)

待合スペース

プレイルーム

20 臨 水道管劣化診断業務

担当課 上下水道部管路保全課
0586-73-8151

令和3年度
事業費

963万1千円

事業期間 3 ~ 4 年度
総事業費 1,552万円

地中に埋設されている水道管の劣化状況を、掘削することなくAI学習したシステムで診断する。それによりみえる化された水道管ごとの劣化度合いを使用して、老朽管の更新や修繕・漏水調査といった維持管理をより効率的・効果的に実施し、水道管を健全に保つ。

給水戸数1戸あたり		58 円
主な経費	水道管劣化診断業務委託料	9,631 千円
	主な財源	一般財源 9,631 千円

— AIを活用した水道管劣化診断を実施 —

